

沖縄経営システム



稲福 学
代表取締役

を開始。ERP(経営資源統合システム)の小さな巨人へと変貌を遂げようとしている。

同社の強みについて、稲福氏は「ノウハウと沖縄ならではの人件費の安さだ」と語る。「経理起点のパッケージで考え、ノウハウを積み上げてきた。1回の伝票

企業に負けているとは思っていない」と稲福社長は自信を見せる。

実際、漁協ソフトでは大手ソフト開発企業からシェアを奪取。流通、サービス、建設、大手スポーツクラブなど、あらゆる業態の企業にも納入している。現在では、業種業態を問わず県内

看板代を載せて2倍の値段で売るといふ。当然、断つた」と笑顔を見せる。

「各企業とも事務的経費の削減がテーマとなっており、我々としてはチャンスと考えている。圧倒的な使い勝手の良さ」と稲福氏はさらに力を込めた。

ERPの小さな巨人、 県外への進出を図る

經理の事務的経費が3分の1に減った——評判が評判を呼び、沖縄県の漁協において圧倒的なシェアを誇るソフトがある。沖縄経営システムの漁業共同組合管理ソフトだ。同社は社員数15人という小所帯。だが、「現場で打ち込んだ伝票を自動仕分けできるのは恐らく当社だけ。金融行政以外のすべての業種に対応できる」(稲福学・代表取締役)という同社は、県外への進出

入力で納品書、請求書が自動的に作成できるなど、「自動仕分け」が当社の武器だ。財務情報を一元管理できるので、経営者はリアルタイムで経営状況を把握することが可能だ。顧客の要望に応じていくらでも修正が可能なので、あらゆる業態に対応可能だ。性能では大手

140社余りの中小企業への納入実績を持つ。事後支援も評価されており、再契約率は95%を誇る。価格においても圧倒的な競争力を持っている。稲福氏は、「費用対効果には絶対の自信がある。以前、県大手企業に自社ブランドでの販売を持ちかけられたが、

▽本社 那覇市国場53
2-11 TEL 098
(963)6200